

経営体の概要

- ・所在地：群馬県館林市、板倉町、明和町
- ・対 象：JA邑楽館林キュウリ生産者
- ・栽培作物・作付面積：促成キュウリ・約80ha
- ・生産者数：約510名（令和5年9月現在）

導入技術

- ・環境測定装置「プロファイnder」（(株)誠和）等
クラウドサービス：測定データをクラウドから確認
- ・CO₂発生機（(株)ネポン、(株)バリテック新潟）等
- ・生産者による自主勉強会の構築（名称：「節なり会」）
クラウド上で、各種データを生産者間で共有



図1 クラウド上で共有したデータを現場で活用



図2 栽培コンサルタントによるセミナーの開催

導入経緯

- 環境測定装置、CO₂発生機を導入したものの、収量向上効果は生産者間で差がみられていた（平成27年度～）。
- 測定データの有効活用、技術の高位平準化を図るため、クラウドを活用したデータ共有による生産者の自主勉強会が発足した（平成29年度～）。
※構成員数：正会員17名、ほか準会員
- JAでは、（国）「次世代につなぐ営農体系確立支援事業」を活用し、栽培コンサルタント派遣による技術力強化を図った（令和2年度）。
- 県では、民間農業支援サービス等を活用したデータ駆動型農業の実践を支援している（令和4年度～）。

取組の特徴・効果

- 環境測定装置のクラウド機能の活用により、データに基づく栽培管理が促進された。
- 自主勉強会でのクラウドを活用したデータ共有（環境データ、出荷データ等）および現地研修会により、高収量生産者の管理を生産者同士で学ぶことができた。
- 栽培コンサルタント派遣による栽培セミナーにより、環境制御をはじめとする栽培管理手法の理解が深まった。
- 収量向上（20～30%増収）の生産者が現れ始めた。
- 今後、産地全体の技術強化が期待される。